

国家資格

高压ガス 製造保安責任者試験 (冷凍)



いつもと違うを見逃さない

食品衛生や工業製品の品質管理のために冷凍・冷蔵設備を使用する工場などでは、最も必要とされる資格です。またビルメンテナンス業界や地域冷暖房施設の運営管理、さらには冷凍機や空調機器の工事・点検を行うサービスエンジニアなど、活躍の場は非常に幅広く、今後も高い需要が期待できることから就職の際に有利な資格であると言えます。

国家試験について

高压法及びLP法関連の国家試験は、KHKが国及び都道府県から試験事務の委譲を受けて、毎年11月に全国一斉に実施しています。

国家試験の実施日

令和8年 **11月8日** 日

実施場所と受験料

区分	種類	書面申請	インターネット申請	実施場所(都道府県名)
大臣試験	第一種冷凍機械	17,800円	17,300円	北海道・宮城県・東京都 愛知県・大阪府・広島県 香川県・福岡県・沖縄県
	第二種冷凍機械	11,600円	11,100円	
知事試験	第三種冷凍機械	10,300円	9,800円	47都道府県

受験願書の入手方法

書面申請用受験願書は、7月上旬頃からKHK本支部、各都道府県試験事務所及び各都道府県高压ガス担当窓口において配布しています。

インターネット申請用受験案内は、KHKのホームページからダウンロード可能となります。

受験願書の受付期間は、令和8年8月17日から、書面申請は8月31日まで、電子申請は9月2日17時までです。

高圧ガス製造保安責任者試験とは？

この試験は、高圧ガス保安法の国家資格を取得するための資格試験です。

全部で9種類の資格がありますが、**冷凍機械に関する高圧ガスの製造保安責任者の資格は3種類**あります。

第一種・第二種・第三種の違い

第一種は、例えば、大型冷蔵倉庫、食品工場や公共施設など、大規模な冷凍・空調システムの保守・運転管理に従事する上で必要な資格です。

第二種は、工場内の冷凍ラインや商業施設の冷凍設備など一定規模以上の設備の保守・運転管理に従事する上で必要な資格です。

第三種は、化学工場、病院や倉庫など様々な施設に設置されている小型冷凍機の冷凍・冷蔵設備の運転管理に従事する上で必要な資格です。

キャリアアップにも役立ちます！

第三種冷凍機械は、第一種や第二種の資格取得に向けた入り口ともいえる資格です。第三種冷凍機械の資格取得後は、上位資格である第一種又は第二種の資格や冷凍機械に関連する複数の資格（電気工事士、危険物取扱者、ボイラー技士など）を取得することで、**昇進や昇給の可能性が高くなるとともに、転職にも有利**に働きます。また、第一種、第二種及び第三種冷凍機械の資格は、他法令（フロン排出抑制法）において、フロン類の充填・回収・点検を行う者に求める資格として指定されるなど、近年、**資格取得により活躍できるフィールドは拡大**しています。



資格を取得した方の声



Aさん

様々な分野で活躍できる！

先輩に受験を進められるまで資格の存在を知らなかったのですが、食品工場や倉庫以外にもビルメンテナンスや地域冷暖房など、様々な分野で活躍できることがわかり驚きました。これといった進路を決めていなかった自分は、就職先を決める上で役立つ資格であると思い、第三種冷凍機械の資格試験を受験することにしました。



Bさん

キャリアアップを目指したい！

資格を取得したことで、現在、職場では高圧ガス保安法に定める冷凍保安責任者に選任されています。法定責任者として周りからは期待されているので緊張感は絶えませんが、日々、充実感でいっぱいです。将来に向けては、第一種冷凍機械の資格を取得し、キャリアアップを目指したいと思っています。

年齢・学歴・経験に関係なく誰でも受験できます

受験案内書等
はこちらから

高圧ガス保安協会ホームページ <https://www.khk.or.jp/>

高圧ガス保安協会 または KHK

